

人に学び・物に学び・自然に学ぶ



三室中だより

《学校教育目標》 令和6年度第8号 令和6年12月2日(月)発行
自ら学ぶ生徒の育成 心豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校

〒336-0912

ぼんぼ

さいたま市緑区馬場1-38-2

学校 048-874-2331

FAX 048-810-1125

相談室 048-876-1731

<http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp>

地域の恵み

校長 廣江 剛

11月3日は、恒例の三室地区自治会連合会主催による「三室ふれあい祭り」が開催されました。本校からも生徒会が中心となって「学校ファーム」で収穫した里芋の販売、9組が授業で制作した成果物の販売を行うとともに、吹奏楽部の生演奏、演劇部のダンスで祭りを大いに盛り上げてくれました。山崎子竜太鼓の演奏で活躍した生徒もいました。三室小学校の校庭に本当にたくさんの方が集まり、日頃から本校がお世話になっている方々と楽しい時間を過ごすことができました。PTA有志の皆様には、駐輪場の整備等を率先して引き受けていただき、心より感謝申し上げます。



さて、本校の特色ある学校づくりの看板である「三室中学校学校ファーム」ですが、今年で26年目を迎えました。大きさはなんと1000㎡あり、畑の創始者である吉田光男様の御指導のもと始められたと聞いております。現在も吉田様と畑の代表者である星野孝男様を筆頭にたくさんの方々に多大なる支援をいただいております。年間を通じて主に里芋、じゃがいも、大根を育て、収穫したものは給食で食し、残りを販売し、売上金は埼玉新聞・社会福祉事業団に寄附しています。

地域の方々にもいつも心底頭が下がるのが、1000㎡の規模に見合う大量の種を用意してくださっていること。そして、緑化委員の生徒達が畑にいくと、既に雑草や大きな蔓は刈り取られ、生徒が作業しやすいように事前に整えてくださっていることです。また、夏の猛暑や台風による水没の心配などを考慮しながら、作付けのタイミングや肥料の調整を計っていただいております。生徒の皆さんには、収穫を通じて自然の恵みに感謝するとともに、地域の方々からの御厚情に心から感謝してほしいと思います。そして、学校ファームは、本校の教育理念である「人に学び 物に学び 自然に学ぶ」の中核であり、これからも地域の方々のお力添えのもと、本校自慢の教育活動として末長く継続できればこれ以上ありがたいことはありません。

また、毎年12回程開催している「三室中学校土曜チャレンジスクール」も地域の方々から多大なる御支援をいただいている事業です。教室コーディネーターの石井実様をはじめ、14名もの学習アドバイザーに生徒の学習を支援していただいております。教育実習生もお手伝いに来てくれることがあります。この土曜チャレンジスクールは、平成24年から12年間続くものであり、開始当初から学習アドバイザーを務めていただいております。我々教員よりも長い間、本校の生徒を指導していただいていることになりました。本当に感謝の念に堪えません。

この他にも学校運営協議会の委員の方々を中心に、至る所で本校の生徒がお世話になっているところですが、これからも地域に根差した教育活動を一層推進してまいりますので、お力添えの程よろしくお願い申し上げます。